

平成21年度第3回川崎区区民会議

日 時 平成22年3月23日（火）午後6時30分

場 所 川崎区役所7階会議室

午後 6時31分 開 会

出席者（敬称略）

（1）委員 18人

魚津利興、荒井敬八、藍原晃、猪熊俊夫、菊地弘毅、木島千栄、島田潤二、須山令子、田辺富夫、富田順人、長島亨、朴栄子、秦琢二、原田歩、藤岡玲子、星川孝宜、宮崎とみ子、吉野智佐雄

（2）参与 6人

飯塚正良、岩崎善幸、小林貴美子、坂本茂、西讓治、浜田昌利

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影、出席者の紹介>

2 委員長挨拶

委員長 前回の全体会議で区民会議の任期開始は4月1日と変更になりましたので、第2期は本日が最後の会議になります。本日の議題は、2年間の活動をまとめた報告書（案）が主ですが、そのほか昨年12月に実施しましたアンケートの報告、3月14日に中原市民館で7区区民会議の交流会がありましたので、その報告もあります。本日最後の会議になりますので、後ほど皆さんから2年間を振り返っての感想を一言ずつお願いします。

3 議 題

第2期川崎区区民会議報告書（案）について

委員長 議題1の第2期川崎区区民会議報告書（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料に沿って説明>

委員長 何か意見はありますか。

まだ時間はありますので、持ち帰って何かあれば後日事務局へ連絡することによろしいですか。

[各委員承認]

4 その他

(1) 区民アンケート集計結果について

委員長 区民アンケート集計結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料に沿って説明>

委員長 何か意見はありますか。

アンケートの有効回収率30.2%は大変いい数字ではないかと感じています。区民会議の認知度については、市政だよりによることが80数%になっています。1回でも多く市政だよりで取り上げていただければと感じています。

(2) 7区区民会議交流会の報告

委員長 3月14日、中原市民館で7区区民会議交流会がありました。荒井副委員長、星川部会長、私の3人が出席しました。その様子を報告してもらいます。

副委員長 7区区民会議交流会では「地域課題の把握方法について」、「区民会議提言の実現について」、「第3期区民会議に向けて」の3つのテーマに沿って意見交換を行いました。また、各区の取り組み状況は資料のとおりです。

区民会議に対する認知度、地域の課題をどう取り組むかが大きなテーマの一つでした。各区ともそれなりに苦勞して、いろいろと研究調査しているようでした。

近隣同士の区民会議で連携をとろうということが提案されました。準備会で7区が年3回ぐらい情報交換をする機会があっていいのではないかと提案したところ、賛成をいただきましたので、近日中に準備会を作ります。悩みは同じで、これからどんだん区の課題解決に向けて一生懸命にやっっていこうという空気が大方でした。

また、昨年度緑のカーテンを作るので川崎区がゴーヤーを植えましたが、今後は行政の縦割りの壁を破って一緒にやれるような体制をつくるのが大事ではないかと感じました。皆さんの努力で第3庁舎の広場にゴーヤーが見事に実って、区民の皆さんにお裾分けできたことは、区民会議でなければできないようなことではないでしょうか。

委員 私は、川崎区区民会議の取り組み状況を報告しました。

川崎区では、だれが、何を、いつ、どういう形で実行するか、区民会議は実施することありきで検討を進めてきました。ほかの区は必ずしも実行段階に及んでいないところが比較的多かったので、川崎区は一步先んじているという印象を持ちました。

7区それぞれに地域特性があって、地域に住む区民のため、区民の課題解決のための会合かと思しますので、それぞれ違ってしかるべきというのが私の印象です。

委員長 少しでも認知度を高めていただこうと、田島支所とか大師支所、またこちらというところもやってきましたが、同じようなことをやっている地区がありました。これと同じようなことを出前でやるのではなく、地域で活躍されている方の場所へ行ったり、違うイベントを企画したり、この場の雰囲気をもう一つ作るのではなくて、その辺は何か考えていったら一人でも多く参加していただけるのかと感じました。

多摩区、麻生区は、山があって、自然がたくさんあるという地域です。川崎区は約半分が工場地帯になっています。それぞれ地域が違い、宮前区などはインフラに関するようなことも出ていて、ちょっと視点が違うと感じました。そちらの地域では、大学と連携していろいろフォーラムを行ったり、美化の清掃をやっているという話もありました。川崎区では、企業市民として区のことにも力を入れてやっていただいているという話をしました。取り組みは区によって違いますが、防災、防犯などの安全安心のまちづくり、子育て、高齢化社会に関することはどこでも取り上げていました。川崎区区民会議第1期では放置自転車問題がありましたが、これも今少しずつ進んでいるようです。

認知度については、試行を含めてまだ5年ですので、30%は良いほうではないかと思っています。

ここで、2年間を振り返って、委員の皆様から感想なり意見をお話ししていただきたいと思います。

委員 地域力・つながり部会の中で、新しいまちづくりをどのようにしたらできるか。スポーツを通じて町おこしをやってきたという話をしてきました。今回カローリングの普及に向けた取り組みを通して、また新しいまちづくりができると思っています。また、昨年11月29日に外国人向けの防災訓練を大島地区連合でやらせていただき、外国人市民の方が20人ぐらい来てくれました。大変すばらしい防災訓練ができたと思っています。今後もスポーツ関係、防災関係で新しいまちづくりを進めていこうと考えています。

委員 商店街に今回のテーマである地域のつながり、手をつなごうという問題を持ち込めないかと思っていましたが、なかなか難しかったという印象があります。

スポーツを通じた交流の実施では、カローリングがすばらしい一つの方向性を出したと思いました。

地域の縁側ですが、その地域に住む一人一人のいろいろな交流が少なくなっていると感じています。地域のつながりや趣味を通して、地域のつながりをもっと伸ばしていけたら良いと思います。

外国人市民に対しては、どのような不便をかけているか実際知りませんでした。外国人市民向けのいろいろなメッセージを聞くことによって、外国人への考え方、見方を変えていかなければと感じました。

第1期区民会議で自転車問題を取り上げたと思いますが、それが商店街で今になって大分効果が出てきたという感じがしています。もう一押しすれば、もっとマナーが浸透していくので、事業の継続性も1つか2つ入れてもらえたらと感じています。

委員 地球環境とエコ部会で、緑のカーテンづくりで仕事をさせていただきました。

私は、自転車のマナー問題が気になっています。先日、神奈川県警の資料を見せましたが、最近、高齢者の自転車に絡んだ死亡事故が多く、川崎市はワースト5に3つも入っています。自転車のマナー向上は取り組まないといけないという感じがします。特に最近、自転車同士の死亡事故が増えているようで、自転車問題は続けてやっていかなければいけないと思っています。

委員 私は2期目から参加しました。環境エコ部会は、部会長を初め他の方々も一生懸命やられました。他区は実施までいっていない中で、川崎区は非常に良いことをしてきたと思います。

区民アンケートを見ると、地域活動を行っていない理由として、地域で活動するきっかけがないためという意見が43.2%もあります。今後、そういった方々に働きかけ、いろいろな方面で参加していただき、川崎区そのものが良くなっていけばいいのかと感じました。

委員 私は町会関係ですが、魅力がないから町会に入らないのか、入りたくてもきっかけがつかめないからかは分かりませんが、核家族化して協調性が少し薄れているという感じがしてなりません。先日、自主防災協議会の講演会があって、阪神の大震災でボランティア活動した方が、一つのイベントに皆さんが参加すること、町会であれば、お祭りとか子どもから年寄りまで多くの方が参加することで心のつながりが育まれ、難しい課題にも協力していけるのではないかという事例を話され、まさにそのとおりだと思いました。やるのは人です。取り組む者がより取り組みやすい環境づくりをしていけば、何とかなるのではないかと思っています。

川崎区は公害のまちから緑のまちに転換しつつあります。これは、行政、地域、住民が一体になって取り組んだ過程の中での社会現象だと思っています。自転車、防犯、防災の問題でも、何か一つのきっかけが出てくれば、良い方向に転換することが可能な地域ではないかと思っています。区民会議はそういう課題のきっかけづくりの一つの指針にしていただければ大変ありがたいです。町会としても、人を集めて活動してもらおうとい

う立場ですので、そういう工夫づくりを今後もしていければと思っています。

委員 環境エコ部会に参加しました。環境エコ部会では、最初に立ち上げた課題を十分こなしてすばらしい成果が上がっていると思います。

区民アンケートでは高齢者の問題が出ていましたが、民生委員でももう少し高齢者問題に力を入れなければいけないと思いました。現代社会では、子育ての支援、児童虐待問題などがありますが、これからの日本を背負っていく子どもたちを立派に育てなければいけませんし、そういう仕事をしなければと今考えています。

地域力・つながり部会ではカラーリングをやりました。第2地区社協では次年度の事業にカラーリングを取り入れようと計画を立てています。良いことは取り上げて、行事に入れていけることがすばらしいと思いました。

委員 まちづくりクラブでは、川信の本店で今日から26日まで、1年間の活動をパネルで紹介し展示しています。

区民が取り組む環境エコ部会に出ましたが、エコは幼児から高齢者まで全部が関わっています。各地区でこれからどのように徹底していくのか。いろいろ問題はあると思いますが、やりがいのあるものではないでしょうか。

小田公園の再整備で住民との話し合いが5回持たれましたが、回を重ねるごとに、エコの状況を皆さんが把握して大分変わってきたことを取り上げても、日本全体がエコに向かって進んでいると感じます。

委員 私は、エコ部会に参加しました。

区民アンケートでは、区民会議があるのか、どういう活動をしているのか分からない区民が大勢いると出ました。あれだけみんな一生懸命やっているのに非常に残念だと考えました。防災訓練は区民会議をPRする良い機会ではないかと考えていましたが、出席した委員が少なかったことはすごく残念に思っています。

委員 区民が取り組むエコ部会に参加して、エコ、緑化、美化について勉強させていただきました。大事なことは、一般の市民にどのようにつなげていくかで、私どもの活動がプラスになっているのかどうか。これからの問題ではないかと思っています。何かやるには楽しみながらやればいいので、それにはどうしたらいいのかが大切だと思っています。

委員 外国人は私しかいないことと、多文化共生の分野から出ているので、一生懸命外国人のことを話しました。外国人市民がいること、なかなか中に入っていないことなど

をわかっただけですごくうれしく思っています。

防災訓練を一緒にした外国人の人たちは、本当にびっくりしたということが一番の感想で、あとは地域の方たちにとっても良く声を掛けていただき、一緒に何かを作り出していくことの第一歩だったのではないかと感じています。メルマガ配信は、地域で行われていることに外国人も参加していくために、まずは情報を知るという意味で良いことだったと感じています。

1期するときには、いろいろなことを決めてもやるのは区役所の人という感じがすごくありましたが、今回は、自分たちでこういうことをやっていこうというところまでやっていったことは良かったと思いました。

委員 私どもは組織の都合上、任期途中でどうしても委員がかわってしまうことがあります。引き継ぎ等をしっかりやっているつもりですが、やはり弊害がありましたので、2年必ず一委員が務めるという形で組織をつくり直しました。

エコ部会に参加して、内容自体はすばらしいものがたくさんありますが、どうしてもPR不足で認知していただけません。我々ができることはPRで、区民アンケートでも40代の女性が一番認知が高く、それはPTA側の人間です。PTAを介すことでそこがスムーズに行くのであれば、労力は惜しむつもりはありません。PRの強化、認知度の強化を含めて来年度以降も協力したいと思います。

委員 海風の森をMAZUつくる会から出ていますが、花とか木とか緑の関係になると、ひとまずやってほしいということで、私がやりましょうと勝手に引き受けてしましますが、実際は相当大変です。でも、会員みんなでやり遂げて、会員にすごく感謝しています。

私ごとですが、MAZUの会をNPOにしようと思って、KSコミュニティ・ビジネス・アカデミーに参加しました。結局難しいので、これをやめようと思ったら、今度は落語会をつくるという女性がいて、そこへ巻き込まれています。参加のきっかけは、その活動が、年寄りと子どもを見事にマッチングさせていたからです。問題解決するときには笑いの中から解決するというのがその女性の大きな秘策です。3月中にはNPOの許可がおりると思います。その気になれば、高齢者でも学ぶことはまだ遅くないとつくづく感じています。これを通して知り合ったいろいろな団体の方がいますので、そこでできたつながりを大切にしたいと思っています。

委員 環境エコ部会でお世話になりました。最初、区民会議に入ったときに、どこまでやったら審議が終わるのか良く分からず、今日この場でもまだ半分わかっていません。ただ、どんなものが課題に上がったにしても、自分がその課題の中に入っていないと、

なぜ取り上げようとしているのか本質が見えないのではないかという感覚があつて、調査、提案等にとどまらず、自分でゴーヤーを育てたり、花を植えに行ったりたくさんやりました。部会でこういうふうに行うと決まったことプラスアルファの部分まで先走ってしまい、後からそんな話は聞いてなかったわ、わかっていたらお手伝いできたのにと、ちょっと悲しんでいるような方もいるのを聞いて、その辺は申しわけなかったと思っています。

その反省をもってどうしようかというところですが、楽しみながらやることは非常に大事だと思います。区民会議の委員の中では、エコ部会のほうはこんなふうにしたと評価をいただいています、区民の方々からしてみたらどうなのか。終わった後で、そういうことをやっていたという過去形で知ったとか、そういった声を聞くに及んで、自分がやってみて、これはうまくできた、少しは解決に近づいたのではないかという実感、達成感をより多くの人に味わっていただかなければいけません。一人でも多くの区民の方が達成感、楽しみを味わうことこそが区民会議の役目ではないかというところが、この時点で私がつかもうとしている答えのようです。

第3期もたくさん知恵が集まって、新しい方向でより力強く進んでいくとは思いますが、エコ部会だけではなく、つながり部会で立ち上げてきたもの、一定の評価を得たものについて、一緒にやりたいとか、何かやろうと思っている人が、アンケートの中にもいることが大分わかってきています。そういった方にどう声をかけていくのかが自分の使命だと思っています。引き続きその方向で力になりたいと思っています。

委員 地域力・つながり部会の部会長を務めましたが、最初の1年は結構苦しい部会運営を迫られました。会議終了予定の8時半をいつもオーバーして、館内放送が鳴るころに終わるということも何度かありました。逆に言うと、区民会議にかける気持ちの熱い方々のご発言が多かったように思います。いつもどのようにして終了させたらいいのかと、多少迷いながら進行役をしていたような気がします。

この2年間、本当に中身の濃い会合だったと思います。外国人の問題は朴委員のおかげで相当理解が深まったと思います。区内には20人に1人の外国人がいる現実から、うまく共存していくことが川崎区らしさという意味でも必要ではないかと感じています。課題解決のためにいろいろ形で事業を実施することができました。川崎区は庶民のまちであり、今まで住民同士が人のつながりを大事にしてきた区だと思います。とはいっても、だんだんその辺が失われてきてはいないかと危機感も多少持っています。人のつながり、きずなを深めていくことは、永遠の課題なのではないかという気がしています。

委員 公募委員として地域力・つながり部会に2年間参加しましたが、自分が参加してみて初めていろいろ見えたところがありました。

私自身、子どもにかかわる仕事をしていますが、地域の中で大人と子どもがいろいろな形で連携をとって物事をやっていくことが、次世代につながっていくことだと思います。それが本来の姿だと思います。地域に住んでいて、地域の力があってこそ、まちが繁栄し、成り立っていきます。その時代時代の中で、大人が培ったものを子どもに伝えていく手段がとても必要なことだと思います。

地域つながり部会ではカラーリングを通してというのを今回しました。そういうものを職場に導入して、まず子どもからやってみて幅広く地域につなげていく。つなげていけば、大人から子どもへ、子どもから大人へという形で大きな力へとつながっていくと思います。自分たちが外に出ていって、それをつなげていくという手腕が今後大きな課題になってくると思います。

委員 地域力・つながり部会で2年間お世話になりました。自分のまちに愛着心を持つことがまちの活性化、まちづくり、観光振興のベースです。我々川崎には非常に豊かな歴史があるので、それを微力ながら皆さんに知っていただくというのが歴史ガイド協会の活動目的です。今年は10年目を迎えますが、民間団体だけでは何をやっても程度があります。行政と一緒にやることによって効果は非常に大きくなるので、団体推薦のような形でこの区民会議に出ています。

我々の行動は目に見えた成果は出てきませんが、今でも小中学校の子どもたちに自分のまちに誇りを持ってもらうとガイド活動をしています。また、行政と一緒にやることが地方にも知られてくると、最近では、千葉県とか埼玉県の公民館活動の一環として、ぜひガイドしてくださいという依頼も回ってきています。

区民会議は一つのきっかけづくりでもあると思います。こういう活動をしていることがきっかけとなって、今、それぞれの地域で自分たちのまちの歴史をつくろうとか、自分たちのまちの思い出話を文集にしようとかという動きも出てきています。区民会議が今度は逆に目立つ存在になっていただければと思います。我々の団体も微力ながらぜひ一緒にやりたいと思っています。

副委員長 昨年9月、川崎区区民会議の実効性を高める取り組みというプロジェクトチームを立ち上げました。2期区民会議をやってきて、区民会議の認識度が低い。個人的にもいろいろな方から、区民会議は何をやっているのかわからないという意見をたくさんいただきました。その内容を聞いてみると、区民会議の制度上の問題があって、皆さん一生懸命やっていますが、華々しく区民会議が出てきません。地域の課題を調査・審議する場であって、実際その課題を解決するのはこの会議ではありません。

制度上から言えば、区民会議で決めたことを区長が取り入れて、協働推進事業として事業化して、それぞれの活動団体をお願いして実績をつけています。これは区民会議を

構成されている皆さん方の責任でも何でもないと開き直っていますが、これを直すには、制度設計をある程度変えていかなければいけないのか、そこまで区民会議が名前を出す必要があるのかどうか。役割としてこういうことをやっている区民の皆さんに知っていただくことしか今のところないと反省しています。

実効性を高める部会としては、アセスメントしなければ次回に進歩していきませんから、ここでもう1回見直してみようと、区民のアンケートをとりました。

その後、7月の任期スタートを4月に変えました。協働推進事業の予算化は既に7月時点で行政で作って、来年度に向けてやっていかないと間に合いません。新規に区民会議の委員がいろいろな提言をしても、次年度予算に組み入れることが可能なのはごく一部です。4月にすれば、幾らかでも区民会議の委員が協働推進事業の内容について知ることできるし、優先順位を区民会議の意見を聞いてやれることも可能なかと思っています。

委員長 貴重な意見、感想をどうもありがとうございました。

最後に参与の方々から一言お願いします。

参与 アンケート結果を見て、4年で30%というのはまずまずかと思えますし、自分も少しでも活動したいという層が潜在的にいることも非常に力強いと思えました。それぞれの委員の発言は非常にしっかりしているし、その辺が財産かと思えます。川崎区は非常に頑張ってここまで来て、これをさらに第3期に向かう一歩としたいと思います。

参与 今日の話聞いていて、本当に深いところまで考えて、いろいろやっていることをよく理解しているつもりです。副委員長の話は、確かに制度上の問題がありますが、少なくともどういうふうの実効性を高めていったかを見続ける、見守ることが非常に大事ではないかと思えます。区民会議で実行したものが少しずつ区民の中に浸透してくれば、区民会議の名そのものも上がっていくと思えますし、区民を一番考えてやった結果で動いてきた行動そのものが評価されると思えます。

先ほど自転車問題がありましたが、そういったものも取り上げたことを忘れないで、3期、4期の中でどういうふうになっていったかという検証も必要ではないかと思えます。今後、区民会議がますますそういった多角的な形で進んでいただければ非常にありがたいという思いでいます。

認知度は、30代の男性がまことに少ないという結果が出ています。この辺の高め方も一工夫されたらよろしいという思いでいました。

参与 今日傍聴が少ないですが、委員と議員が毎回傍聴に誰か1人参加してもらおうよう

に声かけすれば、少なくとも31名の傍聴が毎回いるという形にもなります。毎回違う傍聴の方が来てくれれば、そういう方々に区民会議の認識も持ってもらえ、意見もいただくこともできるのではないかと一つ反省しています。

中原、高津、麻生区は、それぞれ区民会議のたよりとかニュースを出していることが分かりました。それを町内会、自治会各戸配布で回しています。ということは、各家でこういうことがあると目にするわけです。川崎区の区民会議も、区民会議ニュース、区民会議だよりを来期はぜひ発行して、全部の家庭に回るような取り組みをしていただければいいと感じました。

区民会議のメンバーに外国人が入っていますし、来期は若い人も委員に入るという話も聞いていますが、足りないのが障害のある方と感じます。障害をお持ちの方々も地域にはたくさん暮らしていますので、障害のある方たちから見て、川崎区は暮らしやすいのか、川崎区にもっとどうしてもらいたいのか。そういう視点ももっと組み入れていくべきではないかと思えます。3期のメンバーにもし間に合わないのであれば、オブザーバーとして参加してもらおうような配慮も必要ではないですか。そして、正式なメンバーにもどこかの時点で入ってもらおう形もとっていただければいいと思えます。

区民会議は2期4年経てきましたが、名実ともに成長し続けていくのが区民会議ではないかと思っています。来期はどのような形で発展するのか。議員もさらに一緒になって盛り上げていければと思っています。

参与 7区区民会議交流会の資料を大変興味深く子細に読んでいましたが、川崎区の報告、今後の課題が実効性のあるところで実にわかりやすく述べられていました。

それから、川崎市は南北に細長い地形で、大きく分ければ3ブロックに分かれるという思いを強くしました。今後の課題等は各区ごとに大変特色があらわれていると思いました。川崎区の子育て支援と北部のほうで考える子育て支援の趣が若干違ってくるとか、既存組織との協働とか連帯、問題点の洗い出しを複数の区も言われていましたが、川崎区はアンケートで既に実施して、これから集約を図っていくというところですよ。

区民会議のあり方、存在をPRする場合のPTAとの上手な連携のあり方を検討していけば、新たな活動に結びついていくのではないかと思えます。

区民会議のあり方は設立をする当初に非常に議論された記憶がありますが、実際動かしてみて、これから区民会議の中でも若干話し合われていくのではないか。区民会議のあり方とか骨格的な部分は、適宜話す時期も来ると思いますが、そのときには、各区役所、議会と事前に忌憚のない意見交換しながら何かでき上がっていけば、いいものが出てくると思えます。

参与 各区の取り組みの中で、地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会は、

他区と比べても非常に盛りだくさんの具体的内容に取り組み、実施をされたという感想を新たにしました。

また、今後の課題等々見ていくと、認知度向上を挙げている区が3～4区ありましたが、この2期で3割達成ができたのは一つ評価すべきところではないかと思います。皆様方の周囲へのPR、拡大活動も功を奏していると思います。

他区に先駆けてアンケートをとったことも非常に前進的なすばらしい結果だったと思います。このアンケートからいろいろな問題点、それに対する解決方法がまた新たに見出せると思いますので、このアンケート結果は非常に重要な中身だったと思います。

参与 委員の皆様からも何回かきっかけとかきっかけづくりという言葉がありました。アンケートでもきっかけがあれば参加してみたいという声がありまして、地域力・つながり部会も環境エコ部会も比較的市民が参加しやすいようにという配慮のあるテーマだったことがありがたかったと思いました。

私個人としては、全員が第3期も引き続き委員を務めていただき、さらに川崎区がよくなるように尽力賜りたいと切に願います。

委員長 最後になりましたが、その任にあらずというのは私のためにあるような言葉ではないかと思っています。本日出席の皆様方のご支援、ご協力のおかげで何とかここまで来ていますので、心より感謝します。

以上で議事を終了します。

事務局 <委員解職手続の説明>

区長 <お礼を述べる>

午後 8時28分 閉 会